

令和2年度

# 朝日町予算説明書



山形県朝日町

---

---

# ～ 目 次 ～

---

---

◎令和2年度 一般会計予算の概要	2
◎主な新規・重点施策（一般会計）	3
◎ // （病院事業会計・水道事業会計）	10
◎基本目標別主要施策	11
1. 技・モノ・心が受け継がれ、人が集まるまち（産業経済）	12
(1) 農業    (2) しごとの確保（商工業）    (3) 交流・観光	
2. ふるさとを愛し、みんなが学び合い、育て合うまち（教育文化）	14
(1) 子育て    (2) 学校教育    (3) 生涯学習（スポーツ・文化）	
3. いつまでも健康に暮らせる、思いやりあふれるまち（健康福祉）	16
(1) 健康増進    (2) 医療・福祉	
4. 豊かな自然を守り、安全で快適な住みよいまち（生活環境）	18
(1) 住まい    (2) 交通    (3) 環境    (4) 防災	
5. 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで支えあうまち（地域づくり）	20
(1) 地域づくり活動    (2) まちのにぎわい・元気づくり	
◆ 町民と行政が相互に信頼できるまち（まちの経営方針）	22
(1) 町民と行政の協働    (2) 行財政経営	
◎令和2年度 当初予算額（会計別総括表）	24
◎予算・決算等資料	25

## 令和2年度 一般会計予算の概要

### 「チャレンジ・つながり・希望 ～町民が活躍し笑顔あふれるまち～」

町民が主体となってチャレンジの輪がつながり、希望が溢れる暮らしを送ることができるまちづくりの実現のため、限られた財源の中にも創意と工夫を発揮し、第6次朝日町総合発展計画の基本計画に掲げた行政の役割を着実に推進していきます。

#### 【令和2年度実施計画基本方針】

第6次朝日町総合発展計画の3年目として、地域の将来に希望を抱き、その実現に向けて行動する人たちがたくさんいるまちをつくる。

#### 【第6次朝日町総合発展計画を推進する5本の柱とまちの経営方針】

政策経費予算額

1 技・モノ・心が引き継がれ、人が集まるまち【産業経済】 (1) 農業 (2) 仕事の確保(商工業) (3) 交流・観光	3億1,226万円
2 ふるさとを愛し、みんなが学びあい、育て合うまち【教育文化】 (1) 子育て (2) 学校教育 (3) 生涯学習(スポーツ・文化)	7億4,953万円
3 いつまでも健康に暮らせる、思いやりあふれるまち【健康福祉】 (1) 健康増進 (2) 医療・福祉	8億9,868万円
4 豊かな自然を守り、安全で快適な住みよいまち【生活環境】 (1) 住まい (2) 交通 (3) 環境 (4) 防災	5億2,795万円
5 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで支え合うまち【地域づくり】 (1) 地区づくり活動 (2) まちのにぎわい・元気づくり	5,223万円
◆ 町民と行政が相互に信頼できるまち【まちの経営方針】 (1) 町民と行政の協働 (2) 行財政経営 (3) 高度情報化・広聴	3億4,712万円

◎予算総額 54億1,000万円

(平成31年度当初 56億700万円、比較増減 1億9,700万円、3.5%減)

## 令和2年度 主な新規・重点施策

令和2年度の新規・重点施策の中から、一般会計15事業、企業会計3事業を紹介します。



# 町道一本松線整備事業

8,600 万円

財源…国の補助金 4,100 万円、町の借金 4,300 万円（防災・減災・国土強靱化・緊急対策事業債 2,750 万円、過疎債 1,550 万円）、町の負担 200 万円（一般財源）

## 一本松公園から農道山田線（榎平の棚田第 2 展望台付近）まで部分開通

### 【事業の概要】

能中地区の一本松公園は、町の花であるヒメサユリの群生地や農水省「日本棚田百選」の榎平の棚田を一望できるなど、町の貴重な観光資源の一つです。

しかしそのアクセスは県道長井大江線側からの一路線のためのため、町は平成 22 年度以降、一本松公園から町道長根線に至る道路（町道一本松線）を新設し、周辺に点在する観光資源を一つのルートで結ぶ工事を展開してきました。30 年度以降は、大規模災害時のう回路機能も期待できることから、国の新たな補助事業「防災・減災・国土強靱化のための 3 年緊急対策事業（※）」の対象路線に選定され、集中的に事業費を投入し、工事を加速させたところでは。

令和 2 年度は、本事業の最終年度として、一本松公園から農道山田線（榎平の棚田第 2 展望台付近）までの区間を部分開通させるほか、本地点から町道長根線に至る区間についても工事を進め、早期全線開通を目指します。



### ◆防災・減災・国土強靱化のための 3 年緊急対策事業

近年激化する災害を受け、国が特に緊急に実施すべき対策として、平成 30 年度から 3 年間重点的に予算付けするもの。河川、砂防等防災インフラの機能強化により被害の防止と最小化を、道路等の生活を支える重要インフラの機能強化により、災害時の避難や救助、交通ネットワークを確保するもの。町道一本松線のほか、町道三中線も事業採択されている。

（担当：建設水道課 整備係）



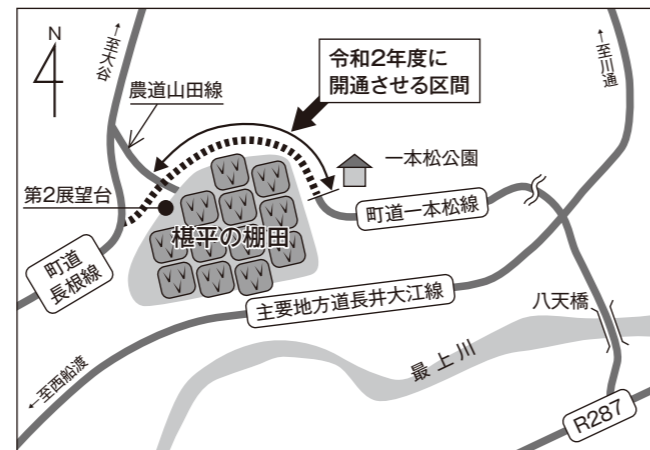
山肌を切り開く町道一本松線の工事

### 【参考】町道一本松線の事業費と国庫補助金額

（単位：万円）

	29 (決算)	30 (決算)	R1 (決算見込)	
			繰越分	現年分
事業費総額	2,322	3,581	5,653	5,700
財源のうち 国庫補助金	1,135	877	2,750	2,750

防災・減災・国土強靱化のための 3 年緊急対策事業は平成 30 年度から 3 年間。30 年度の事業のうち緊急対策分は令和元年度への繰越事業として実施。29 年度と比較すると事業規模がわかる。



# りんご温泉存続対策

3,000 万円

財源…町の負担 3,000 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

## りんご温泉の土地と建物を取得。町有施設として管理、運営を行います

### 【事業の概要】

りんご温泉については、今年 2 月末日までに、町が運営会社である「有限会社地球耕望」の全株式を取得し、3 月 1 日、新たな体制の下でスタートを切ったところです。

令和 2 年度は土地と建物を取得し、りんご温泉は名実ともに町有施設となります。今後も町民の皆さんの健康づくりを応援する施設として、また町の重要な観光施設としてより多くの皆さんから利用していただけるよう管理運営に努めます。

（担当：総務課 財務係）



# 宮宿小学校体育館天井改修事業

4,500 万円

財源…国の補助金 1,500 万円、町の借金（過疎債 3,000 万円）

## 東日本大震災後に見直された文科省の安全基準に適合するよう改修

### 【事業の概要】

宮宿小学校体育館の天井を、文部科学省が定める安全基準に適合するよう改修します。

現在の体育館については平成 23 年度の完成で、築 10 年程度ですが、東日本大震災において、多くの学校体育館で天井崩落があったことを受けて安全基準が見直され、改修が必要となりました。

工事は夏休み期間を利用しながら、夏から秋にかけて実施予定です。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（担当：教育文化課 学校教育係）





## 創遊館大規模改修事業

1億758万円

財源…町の借金1億600万円(過疎債)、町の負担158万円(町有施設整備管理基金110万円、一般財源48万円)

### 劣化診断に基づく改修2年目。電気設備、機械設備を更新



#### 【事業の概要】

創遊館は平成12年の完成から約20年が経過し、経年劣化による故障や傷みが施設の各所に見られています。昨年度は平成29年度に実施した施設の劣化診断で最も緊急性の高かった空調設備の改修を終えたところです。

今年度行う工事は、電気設備と機械設備の更新で、工期は6月から10月頃を予定。一部ご不便をおかけする時期もありますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(担当：教育文化課 生涯学習係)

## Asahi 自然観大規模改修事業

1,190万円

財源…町の借金1,190万円(辺地債)

### ホテル、コテージ等を大規模改修。りんご温泉とのすみ分けも考慮



#### 【事業の概要】

平成30年度に策定した中期運営計画に基づき、ホテルやコテージ、関連施設の大規模改修を実施します。

施設の大規模改修については昨年度から実施予定でしたが、りんご温泉の存続対策で町内観光施設のあり方等について様々な検討、調整が必要となったことから、1年先送りとなりました。

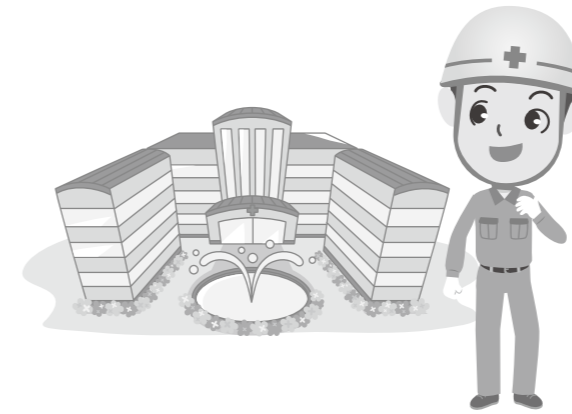
改修にあたっては、りんご温泉との連携や役割のすみ分けを十分に考慮しながら進め、町全体の観光施設の魅力向上、経営の効率化等を図ります。

(担当：総合産業課 商工観光係)

## 災害対策本部機能強化事業

420万円

財源…町の借金(緊急防災・減災事業債)420万円



#### 【事業の概要】

有事への備えとして、役場庁舎の非常用電源設備を改修します。

電源供給が可能な時間を、国が定める72時間(3日間)へ拡大するほか、供給範囲を役場、開発センターのほか町民体育館にも拡大し、災害対策本部の機能強化を図ります。

(担当：総務課 危機管理係)

## 緑が丘公園遊具等設置事業

4,250万円

財源…国の補助金625万円、町の借金3,620万円(過疎債)、町の負担5万円(一般財源)



#### 【事業の概要】

子育て世代からの要望を受け、緑が丘公園に遊具を設置します。

広場の造成を実施した昨年度に対し、今年度は遊具やあずまや、築山などの整備を実施。公園の魅力アップ、子どもの遊び場の充実を図ります。

(担当：建設水道課 整備係)

## 町道雪谷線改良事業

5,500万円

財源…町の借金5,150万円(過疎債) 町の負担350万円(一般財源)



昨年10月、台風による増水で冠水した道路

#### 【事業の概要】

雪谷地区と助ノ巻地区を結ぶ町道雪谷線については、これまで幾度となく大雨による冠水に見舞われ、その都度雪谷集落が孤立してきました。

これを受け、町は27年度から道路の嵩上げ工事を進めてきましたが、令和2年度をもって完了予定です。

(担当：建設水道課 整備係)

## 旧水本小の解体・交流広場整備 6,200万円

財源…国の補助金 2,550 万円、町の負担 3,650 万円（町有施設整備・管理基金）



### 【事業の概要】

旧水本小学校については、平成 14 年 3 月の閉校以来 18 年が経過していますが、今後の有効活用が難しいことから、解体することとなりました。

解体後の跡地には、閉校記念碑など敷地内にある 3 基の記念碑を集約した小さな広場を整備。卒業生の思いを未来に引き継ぐ憩いの場とします。

（担当：総務課 財務係）

## インバウンド推進事業 2,130万円

財源…国の補助金 320 万円、町の負担 1,810 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金 1,000 万円、一般財源 810 万円）



### 【事業の概要】

拡大するインバウンド市場への対応として、台湾出身の地域おこし協力隊員を配置するとともに、総合的な誘客・情報発信の委託、旅行者への交通費に対する補助等を実施します。外国人観光客の取り込みによる交流人口の増加と経済の活性化を図ります。

（担当：総合産業課 商工観光係）

## 避難誘導標識整備事業 500万円

財源…町の負担 500 万円（一般財源）



平成 30 年度に整備した大谷小の標識

### 【事業の概要】

平成 30 年度に続き、有事の際の避難場所を示す誘導標識を、町内 5 か所（開発センター、町民体育館、西部公民館、健康増進センター、北部体育館）に設置します。

どの災害に対応しているかの表示とともに、子どもや外国人の方にもわかりやすいデザインにします。

（担当：総務課 危機管理係）

## 旧大平橋撤去事業 1,100万円

財源…国の補助金 353 万円、町の借金 170 万円（公共事業等債）、町の負担 27 万円（一般財源）、その他 550 万円



### 【事業の概要】

白鷹町大瀬と朝日町今平間の最上川に架かる旧大平橋。珍しい木造の吊り橋ですが、近年老朽化が進み、改修・維持費用も多額となることから、白鷹町と協議の上、解体・撤去することとなりました。

今年度で解体の実施設計を行い、令和 3 年度に解体工事をを行います。

（担当：建設水道課 整備係）

## 小学校合同修学旅行補助 120万円

財源…町の負担 120 万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）



### 【事業の概要】

今年度から新たに実施する町内小学校の合同修学旅行に対し補助を行います。

外国語学習の充実が目的で、福島県内にある外国語学習施設における研修、滞在費用相当分を補助します。

（担当：教育文化課 学校教育係）

## ため池ハザードマップ作成 180万円

財源…県の補助 180 万円



ハザードマップ作成に向けたワークショップの様子

### 【事業の概要】

平成 30 年の西日本豪雨等、近年の大雨でため池の決壊による被害が相次いでいることを受け、国は下流の民家や公共施設等に影響を及ぼす可能性があるため池を「防災重点ため池」として指定し、避難経路等を示したハザードマップの策定を義務付けることとしました。町内の指定ため池は 21 か所。今後近隣住民の皆さんと話し合いを重ねながら計画を策定します。

（担当：農林振興課 農林振興係）



## 病院事業会計

# 町立病院内施設整備事業

## 3,800 万円

財源…国の補助 1,800 万円、町の借金（過疎債）950 万円、病院の借金（病院債）950 万円、町の負担 50 万円、病院の負担 50 万円



### 【事業の概要】

専用の内視鏡室を整備し、1日当たりの胃カメラ受診件数を高め、後期高齢者の健康診断受入れに備えます。

その他、採尿室へのナースコール設置等、外来診療棟を中心に改修を実施し、療養環境の改善を図ります。

（担当：町立病院 医事庶務係）

## 病院事業会計

# 町立病院医療機器等整備事業

## 2,240 万円

財源…町の借金（過疎債）1,070 万円、病院の借金（病院債）1,140 万円、町の負担 15 万円、病院の負担 15 万円



### 【事業の概要】

必要性の高い医療機器等を計画的に更新・新規購入し、質の高い医療の提供に努めます。

（主な整備内容）

- ・医療用画像管理システム 1,300 万円
- ・3次元眼底像撮影装置 710 万円
- ・内視鏡洗浄装置 80 万円 ほか

（担当：町立病院 医事庶務係）

## 水道事業会計

# 水道施設の耐震化・長寿命化

## 5,500 万円

財源…町（水道事業会計）の負担 5,500 万円



現在の八ツ沼配水池

### 【事業の概要】

町は平成 26 年度に策定した「水道事業アセットマネジメント（資産管理）」に基づき、計画的に水道施設の施設・設備の更新を行っています。

令和 2 年度は、昭和 39 年度に設置した八ツ沼配水池の新設工事を行います。

（担当：建設水道課 上下水道係）

# 令和 2 年度 基本目標別主要施策

令和 2 年度の主な施策・予算を、第 6 次朝日町総合発展計画で掲げる 5 つの基本目標と、それを実現させるための「まちの経営方針」に沿って紹介いたします。

# 1. 技・モノ・心が受け継がれ、人が集まる

# まち【産業経済】

総額 3億1,226万円



海外の高級百貨店における販促会

## りんご輸出拡大対策 280万円

財源…国の補助 140万円、町の負担 140万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

朝日町のりんごは海外での評価が高く、台湾、タイ、マレーシアなどに向けてシナノスイートやふじを中心に輸出事業を展開しています。生産者や関係者が現地に赴き販促会を積極的に実施することで、国内外での朝日町りんごのブランド化に取り組みます。

（担当：農林振興課 農林振興係）

## 電動アシスト剪定ハサミ整備支援事業 250万円

財源…町の負担 250万円（日本一りんごのふるさとづくり基金）

高齢化による離農や後継者不足を受け、意欲ある農家の方や新規就農者等に対し、農作業の省力化につながる電動アシスト剪定ハサミ購入費用の一部を補助します。

（担当：農林振興課 農林振興係）



電動アシスト剪定ハサミ

## 観光のまちづくり計画改訂 30万円

財源…町の負担 30万円（一般財源）

平成23年に策定した「朝日町観光のまちづくり計画」について見直しを行い、ビジョンや観光施設等の在り方等、時代に即した観光政策を新たに推進します。

（担当：総合産業課 商工観光係）



現行の観光のまちづくり計画

## 空気神社環境整備、朝日連峰案内看板整備 335万円

財源…町の負担 335万円（町有施設整備・管理基金）

空気神社の建立30周年を機に、鏡面および地下本殿の改修を実施します。また、朝日連峰への登山道入口に登山者の安全対策として、各登山道のルートや難易度等の情報を掲載した看板を設置します。

（担当：総合産業課 商工観光係）



## (1) 農業

（単位：万円）

◇朝日町ブランドの代表である高品質なりんごづくりを続ける		
高品質りんご生産緊急対策補助		250
りんご輸出拡大対策		280
りんご黒星病緊急特別対策	新規	50
◇多様な果樹のまちとしての魅力を発信する		
チャレンジファーマー応援事業		150
欧州系ワイン用ぶどう栽培支援事業		50
◇低コストで多様な農産品づくりを展開する		
施設園芸用ハウス等整備補助		100
ブランド米生産促進補助		80
◇安心して農業を続けていける人づくりを進める		
農業次世代人材投資事業		1,950
認定農業者農機具等支援事業		300
電動アシスト剪定ハサミ整備支援事業	新規	250
◇将来性ある生産体制のための環境を整備する		
有害鳥獣対策		189
ため池ハザードマップ整備	新規	180
中郷地区ため池改修工事負担金		715
三中元能中地区基盤整備事業負担金		100

## (2) しごとの確保（商工業）

◇今ある企業や事業所のものづくりを応援する		
町民の働く場を確保するための取組み（産業立地促進奨励金ほか）		1,467
◇今ある商店等の活性化を促す		
商工会指導事業、商店街活性化補助（商店街魅力創出チャレンジ事業ほか）	拡充	720
◇やりたい仕事を始められる環境を整える		
創業支援対策、おためしサテライトオフィス事業		487

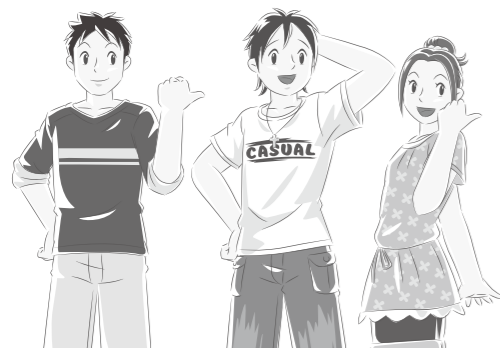
## (3) 交流・観光

◇朝日町について学び、おもてなしに活かす		
観光PR映像制作	新規	50
観光のまちづくり計画改訂	新規	30
◇既存観光資源を整備し、活用を促進する		
りんご温泉存続対策	新規	3,000
朝日自然観大規模改修		1,190
空気神社周辺整備、朝日連峰案内看板整備	新規	335
◇広域連携により交流・観光の拡充とインバウンド推進につなげる		
インバウンド推進事業	増額	2,102



## 2. ふるさとを愛し、みんなが学び合い、

## 育て合うまち【教育文化】 総額 7億4,953万円



### 高校生以下の医療費完全無料化 2,593万円

財源… 県の補助 642万円、町の負担 1,951万円（一般財源）

町は長年中学生以下の医療費無料化を実施してきましたが、令和元年度からその対象を高校生以下まで拡大しています。令和2年度についても継続し、子育て世代のさらなる負担軽減を図ります。

（担当：健康福祉課 福祉子育て係）



### 高校受験対策（あさひ英語、数学学習会の開催） 61万円

財源… 町の負担 61万円（一般財源）

高校受験対策として学習塾に通う中学生が増える中、町内に学習塾がない当町では、町教育委員会主体による学習塾として「あさひ英語学習会」「あさひ数学学習会」を実施。志望校合格に向けた支援を行います。

（担当：教育文化課 学校教育係）



学習生活指導員による読みきかせ

### 学習生活指導員、読書活動推進員、部活動指導員の配置 1,842万円

財源…町の負担 1,842万円（一般財源）

複式学級の増加による教員数の減少や昨今の働き方改革への対応を受け、子どもたちへのきめ細かな指導や教職員の負担軽減を目的に、町は独自に各種指導員、推進員を配置しています。令和2年度は小中学校合わせて13人の配置を予定しています。

（担当：教育文化課 学校教育係）



ミズノ株式会社の講師による走り方教室

### ミズノ株式会社とのまちづくり提携事業 990万円

財源…財源…町の負担 990万円（日本ーりんごのふるさとづくり基金 290万円、一般財源 700万円）

現在の提携期間の最終年度となる令和2年度は、これまでの小中学生や高齢者を対象にした短期的な講師招へい事業および講演事業のほか、国の「地域おこし企業人」制度を活用しながら、長期的に専門スタッフを招へい。新たな視点で健康づくり、スポーツの技能向上を支援します。

（担当：政策推進課 広報ブランド係）

### (1) 子育て

（単位：万円）

◇出産・子育てに携わる人の健康を確保し、不安・負担を軽減する	
高校生以下の医療費完全無料化	2,593
母子保健コーディネーターの配置（妊娠期から子育て期までのトータルサポート）	351
特定不妊治療費助成	100
風しん対策（特定年齢層の抗体検査、予防接種費用補助）	335
◇地域ぐるみで子どもを健やかに育む居場所を作る	
保育園等運営委託（あさひ保育園、子育て支援センター、放課後児童クラブ）	2億1,431
放課後子ども教室の実施	195
緑が丘公園整備事業（遊具、あずまや設置）	増額 4,250
◇子どもや家庭を持つことの大切さを伝える	
子育て総合支援事業（出産祝金、子育てガイドブック、ほか）	493
◇結婚に向けた意識の醸成や出会いを増やして若者を応援する	
結婚支援事業（仲人成婚奨励金、各種婚活イベントの開催、ほか）	187

### (2) 学校教育

◇家庭・地域・学校が協働し、きらりとひかる学校・地域を作る	
朝日町コミュニティスクールの推進	51
地域に誇れる小規模校支援事業	180
◇社会の変化に対応し、未来を拓く確かな力を持つ子どもを育てる	
学習生活指導員、読書活動推進員、部活動支援員の配置	増額 1,842
中学生海外派遣事業	435
中学生の高校受験対策（あさひ英語、数学学習会の開催）	61
英語力向上の支援（ALTの配置等）	1,100
小学校合同修学旅行補助	新規 120
◇安全安心な教育環境づくりを推進する	
宮宿小学校体育館天井改修	新規 4,500
大谷小受水槽更新	新規 1,050
宮宿小、大谷小校舎劣化診断	新規 1,000

### (3) 生涯学習（スポーツ・文化）

◇潤いのある生活を楽しむ生涯学習を推進する	
エコミュージアム推進事業	217
自治公民館の改修支援	200
創遊館の大規模改修（電気設備、機械設備）	1億758
北部公民館ホール空調改修	新規 656
◇心身の健康を育む生涯スポーツを推進する	
総合型地域スポーツクラブの運営	166
ミズノ株式会社とのまちづくり推進事業	増額 990

### 3. いつまでも健康に暮らせる、思いやり

### あふれるまち【健康福祉】 総額 8億9,868万円



#### 朝日町立病院運営補助 3億515万円

財源…町の借金 2,020万円(過疎債)、町の負担 2億8,495万円(一般財源)

地域医療の拠点である町立病院の経営安定のため、一般会計から病院事業会計へ補助を行います。令和2年度については、病院事業会計で実施する施設改修に対し950万円、医療機器整備に対し1,070万円、その他国の基準に基づく金額を補助します。

(担当：総務課 財務係)



令和元年度金婚祝賀会

#### 高齢者・障がい者の居場所づくり、生きがいくり 1,997万円

財源…県の補助30万円、町の負担1,967万円(日本一りんごのふるさとづくり基金105万円、一般財源1,862万円)

町は、福祉バスの運行や敬老事業、長寿クラブへの補助、社会福祉協議会の運営に対する補助などを実施しています。これらを通じ、高齢者や障がい者等、支援が必要な人と町民が助け合い、住み慣れた地域で生きがいを持って自分らしく暮らせる環境づくりに努めます。

(担当：健康福祉課 福祉子育て係)

#### 障害児等通学・通所支援等 2,276万円

財源…国の補助996万円、県の補助545万円、町の負担693万円(一般財源)、その他42万円

障がいを持った子どもや家族が安心して暮らせるよう、特別支援学校への通学タクシー運行や通学補助、放課後児童デイサービス利用に対する支援等を実施し、経済的負担を軽減します。

(担当：健康福祉課 福祉子育て係)

#### 元気クラブ活動支援 154万円

財源…町の負担154万円(日本一りんごのふるさとづくり基金)

町は、高齢者が地域のつながりの中で、気軽に集まって楽しく過ごすことができる活動を応援しています。お茶飲み会や健康教室、交通安全教室等、それぞれの地区で実施される介護予防活動への支援を通じ、高齢者の健康づくり、生きがいくりを進めます。

(担当：健康福祉課 福祉子育て係)



#### (1) 健康増進 (単位：万円)

◇健康づくりへの意識を高め、生活習慣病の発症と重症化を防ぐ	
心と体の健康づくりの推進(各種健康教室、相談の実施)	844
病気の早期発見に向けた取り組み(各種検診の実施)	2,501
朝日町健康づくり応援事業(入浴施設利用補助)	<b>新規</b> 108

#### (2) 医療・福祉

◇充実した医療サービスが受けられる環境を整える	
在宅当番医制、休日診療	287
朝日町立病院運営補助(地域医療基盤の維持・強化)	3億515
◇高齢者、障がい者等が居場所づくりや相談体制を通してお互いに支え合う	
高齢者・障がい者の居場所づくり、生きがいくり	1,997
障がい児通学、通所支援等	2,276
元気クラブ活動支援	154
高齢者生産活動センターの運営	<b>増額</b> 766
◇高齢者、障がい者等が仕事を通して生きがいを持って暮らす	
高齢者の就労の場の確保	145
◇高齢者が安心して暮らせる町民ニーズに沿った介護環境を提供する	
要介護1・2の認定者に対する紙おむつ支給事業	253
介護保険事業の円滑な運営	2億76

令和2年4月1日スタート(温泉入浴利用券購入助成)

朝日町内の温泉でゆったり心身のリフレッシュ、健康づくりを推進します!

- 対象者 朝日町町民
- 購入方法
  - 「温泉入浴利用券購入証明書」を申請します。本人確認のできるもの(運転免許証・医療保険証等)をお持ちください。
  - 申請は、健康福祉課または2か所の温泉施設で行うことができます。
  - 発行された証明書を各温泉施設に提示し、温泉入浴利用券を購入します。

3. 証明書の種類と助成額(①～③の利用助成から一つを選べます。)

証明書種別	入浴券金額	助成金額	助成回数
①りんご温泉年間券証明書	38,000円	6,000円	年1回
②りんご温泉半年券証明書	21,000円	3,000円	年2回
③回数券証明書			回数券は2施設合わせて月3セットまで。
りんご温泉	回数券(11回)	3,000円	1,000円
いもがわ温泉	大人回数券 ※中学生以上(11回)	1,500円	500円
	小人回数券 ※小学生(11回)	1,000円	300円

4. 注意事項  
助成を受けて購入した温泉入浴利用券は、本人以外使えません。証明書は令和3年3月末まで有効です。

(担当：健康福祉課 保健医療係)



# 4. 豊かな自然を守り、安全で快適な住み

# よいまち【生活環境】

総額 5億 2,795 万円



町道西町西原線の工事

## 町道の新設改良

(一本松線、雪谷線、赤釜線、西町・西原線ほか) 1億 9,281 万円

財源…国の補助 4,250 万円、町の借金 1億 3,950 万円 (過疎債等)、町の負担 1,081 万円

町道整備のうち、令和 2 年度は新規・重要事業で紹介した一本松線、雪谷線のほか、赤釜線の改良、西町西原線の歩道設置等に重点的に取り組めます。西町・西原線は令和 2 年度、赤釜線は 5 年度で完了の予定です。

(担当：建設水道課 整備係)



## 空家の利活用と適正管理

1,461 万円

財源…国の補助 75 万円、町の負担 1,386 万円 (一般財源)

年々深刻化する空家対策として、空家バンクや改修補助金等で利用を促進するほか、空家解体補助を通じ、利活用と適正管理を推進します。なお、空家バンクの運営は、町外からの移住相談窓口も兼ねた業務として令和元年度から町内の事業者者に民間委託しています。

(担当：建設水道課 整備係)



耐震性貯水槽の設置工事

## 耐震性貯水槽整備

2,200 万円

財源…国の補助 549 万円、町の借金…1,650 万円、町の負担…1 万円 (一般財源)

火災時に十分な水利を確保し、迅速かつ適確な消火活動を行うため、大町および大谷二地内に 40t 級の耐震性貯水槽を整備します。

(担当：総務課 危機管理係)

## 「地球にやさしい町」宣言



## 環境意識の向上に向けた啓発活動 339 万円

財源…町の負担 339 万円 (日本一りんごのふるさとづくり基金)

平成 29 年度に策定した「第 2 次環境基本計画」に基づいた各種啓発事業を展開するとともに、「地球にやさしい町」宣言 30 周年の記念事業として、子どもたちを対象にした標語、作文等のコンクールを実施します。

(担当：税務町民課 住民生活係)

## (1) 住まい

(単位：万円)

◇住みやすく多様な住環境整備のための支援を行う	
持家住宅支援事業	3,681
◇空家の利活用と適正管理	
空家の利活用と適正管理 (空き家利活用補助・空き家解体補助等)	1,461

## (2) 交通

◇子どもから高齢者まで便利に出かけられる交通手段を充実する	
山形市直行バス運行事業	1,410
デマンド型交通事業	2,147
町民の足確保対策 (高校生・高齢者の山交バス利用負担軽減、利便性アップ等)	805
◇道路環境の整備等により安全安心な交通環境をつくる	
高齢者免許返納助成	80
交通安全の推進 (カーブミラー設置等)	107
町道改良 (一本松線、赤釜線、雪谷線、西町西原線ほか)	増額 1億 9,281
舗装修繕計画に基づく修繕 (西原団地線)	5,000
側溝整備等 (前田沢下芦沢線、十本木線、西町線ほか)	800
大平橋撤去	1,100

## (3) 環境

◇環境に対する意識を高めて、きれいな水と空気と緑を守る	
環境意識の向上に向けた啓発活動 (地球にやさしい町宣言 30 周年)	増額 339
合併処理浄化槽の設置による水環境の保全	1,294
秋葉山周辺環境整備	100
豊かな森林環境を守る取り組み (森林病虫害の防除)	105
◇自然エネルギーの導入促進による資源の有効利用を推進する	
太陽光発電設備、木質バイオマス燃焼機器導入補助	110

## (4) 防災

◇安心して暮らせる地域の防災体制を構築する	
消火栓設置工事	263
消防団装備品の更新 (消防ホース、防火帽、防火服)	210
自主防災組織活動支援	171
耐震性貯水槽整備 (大町、大谷二)	新規 2,200
◇災害に備える基盤整備を進める	
備蓄品購入 (液体ミルク、ダンボールベッド等)	100
災害対策本部機能強化 (役場庁舎非常用電源改修)	新規 420
避難誘導標識整備	500
◇地域が協力し、雪を苦にしないで暮らす	
地域活躍応援事業 (雪対策等)	510

# 5. 地域を思う一人ひとりがつながり、みんなで

# 支え合うまち【地域づくり】

総額 5,223 万円



## 地域づくりを話し合う場の確保と集落支援員等の配置 426 万円

財源…町の負担 426 万円（一般財源）

町内 55 集落、55 色の地域づくりを支援するため、集落支援員を配置します。地域づくりの第一歩は、そこに住む人たちの話し合いから。支援員とともに地域の魅力や悩み等を話し合うことで長所を伸ばすとともに短所を補う糸口を探り、地域づくりを支援します。

（担当：政策推進課 地域振興係）



## 地域活躍応援事業 1,545 万円

財源…町の負担 1,545 万円（一般財源）

地域の創意と工夫を生かした自治活動（雪対策、草対策含む）を交付金等で応援します。平成 30 年度から自主防災活動に対する補助を包括するとともに、小規模集落に対する支援強化の一環として、「自治活動奨励金」を増額しています。

（担当：政策推進課 地域振興係）



## 志藤六郎村おこし基金事業 245 万円

財源…町の負担 245 万円（志藤六郎村おこし基金及び利子 241 万円、一般財源 4 万円）

町内栗木沢出身の名誉町民・故志藤六郎氏から、平成 4 年にいただいた寄付金（1 億円）を原資として積み立てた基金を有効活用し、町を元気にする多様な取り組みについて、ハード、ソフト両面から支援します。

（担当：政策推進課 地域振興係）



## 朝日町暮らし体験施設「松本亭」の運営 844 万円

財源…町の負担 844 万円（一般財源）

常盤地区の古民家を改装した移住・交流体験施設「松本亭」は格安で宿泊できるゲストハウスとして旅行者や町に関心のある人々から利用されているほか、町外の方々と町民との交流の場にもなっています。今後も施設を通じた交流の促進、町の活性化を図ります。

（担当：政策推進課 総合政策係）

### (1) 地区づくり活動

◇地区の強みと弱みを分析し、地区の役割を明確にする地域づくり推進事業	
地域づくりを話し合う場の確保と集落支援員等の配置	426
◇地域の意欲を後押しする財政支援を行う	
地域活躍応援事業（旧名称：地域提案型交付金）	1,545
◇地区同士の連携を推進する	
区の枠組みを超えた地域づくりに対する補助	50

### (2) まちのにぎわい・元気づくり

◇移住を受け入れる環境を作り、地区の活力を高める	
朝日町暮らし体験施設「松本亭」の運営	844
移住支援、UIJ ターン対策	502
同窓会助成事業	20
◇地域課題を解決するための仕組みを作り、参加することでつながりを再構築する	
志藤六郎村おこし基金事業	245

## 朝日中学校同窓会

## 同窓会助成事業

同窓会の開催を支援することにより、町出身者と在住者、そして町がつながるきっかけづくり、さらには外部の力の取り込みによる地域活性化を目指します。

(1) 対象となる事業  
町内の小・中学校を卒業した、満 39 歳以下の同窓会とし、次に掲げる要件の全てを満たすこと。

①町内で開催されるものであること。ただし、成人式と同日開催でないもの。②出席予定者が 20 名以上で、うち概ね 3 割以上が町外に居住していること。③町が提供する資料等の配布及び周知を行うこと。④町が実施するアンケート調査に協力すること。

(2) 補助対象経費  
補助対象者が同窓会を開催するために必要な経費とし、次に掲げるものとする。  
①開催案内文書の作成や送付に必要な印刷製本費及び通信運搬費 ②町内の飲食店等に支払う開催経費

(3) 補助金の額  
本補助金は、参加者一人につき 2,000 円とする。（上限 10 万円）。ただし、同一の同窓会への補助金の交付は、一年度に 1 回限りとする。

（担当：政策推進課 総合政策係）



# ■町民と行政が相互に信頼できるまち

# 【まちの経営方針】

総額 3億 4,712万円



## 公共施設個別施設計画策定 950万円

財源…町の負担 950万円（町有施設整備・管理基金）

町内すべての公共施設における、今後の維持管理、改修計画等の指針となる「公共施設個別施設計画」を策定します。

国（総務省）より令和3年3月まで策定を求められているもの。策定後は本計画に基づき公共施設の適正管理、総量縮減に努めます。  
（担当：総務課 財務係）

## 地理情報システム更新 1,080万円

財源…町の負担 1,080万円（一般財源）

主に固定資産税の課税や農地および道路管理等に活用している地理情報システム（航空写真と地籍情報を重ね合わせたもの）を更新します。メインとなる航空写真は、システムを導入した平成16年以來の更新で、今後も適正な課税や効果的な事務に活用します。

（担当：税務町民課 税務係）



# ふるさと納税

令和元年度は過去最多  
1億 4,000万円超

町はふるさと納税でいただいた寄付金を「日本一りんごのふるさとづくり基金」に積立て、次年度以降の事業の財源として活用しています。

近年貴重な財源となっているふるさと納税については、国の指針を無視する一部の自治体の動向を受け、昨年度制度改正が実施され、返礼品の割合や地元産品の定義が明確化されました。

返礼品の割合を当初から3割と定め、寄付者とのつながりを大切にすることで、ルールを守りながら、近年継続して1億円規模の寄付をいただいていた当町にとっては追い風になり、令和元年度は過去最高となる1億4,000万円を超える寄附をいただきました。

（担当：政策推進課 広報ブランド係）

■寄付金額（基金積立額）と取崩し額、年度末残高の推移（単位：万円）

	20～25(合計)	26	27	28	29	30	R1	R2
寄付金額（基金積立額）	553	338	7,825	9,716	9,724	9,778	1億 4,000	1億 1,000
事業充当額（取崩し額）	196	-	-	5,700	8,103	8,519	8,973	1億 6,934
年度末残高	357	695	8,520	1億 2,536	1億 4,157	1億 5,416	2億 443	1億 4,509

※年度末残高＝前年度末残高＋寄付金額（基金積立額）－事業充当額（取崩額）、R1～R2年度は見込額、ほかは決算額。

## （1）町民と行政の協働

◇町民が主役となり、温かみのある行政運営を行なう	
町民に親しみをもたれる役場づくりプロジェクト	21
◇地域で活動する人材を育成する	
つながりで育てる人材育成プロジェクト	120

## （2）行財政経営

◇歳入の確保と効率的な歳出執行を推進する		
公共施設個別施設計画策定	新規	950
地理情報システム更新	新規	873
旧水本小学校の解体、交流広場整備	新規	6,200
PCB 有害廃棄物処分	新規	850
役場庁舎等の長寿命化（第2庁舎修繕、駐車場柵線整備、防犯カメラ設置等）		490
開発センターホール椅子等備品更新		150
ふるさと納税推進事業		1億 7,541

## 令和2年度基金活用事業

総額 1億 6,934万円

朝日町のふるさと納税は使い道を6種類のメニューから選ぶことができます。いただいた寄付金を元にして令和2年度取り組む事業の総額は1億6,934万円。その一例を紹介いたします。

<b>1. りんごとワインの里の産業・観光 2,842万円</b> ・電動アシスト剪定ハサミ整備支援事業 250万円 ・認定農業者農機具等支援事業 300万円 ・商店街魅力創出チャレンジ事業 120万円	<b>2. ふるさとを愛し学び合う暮らし 3,731万円</b> ・宮宿谷地間路線バス利用補助 540万円 ・全国大会等激励金、部活動補助 210万円 ・小学校合同修学旅行補助 120万円
<b>3. 思いやりあふれる健康な暮らし 1,125万円</b> ・朝日町健康づくり応援事業 108万円 ・高齢者生産活動センターの運営 766万円 ・金婚式、白寿、米寿等敬老事業 105万円	<b>4. 自然と共生する安心な暮らし 1,271万円</b> ・消防ホース、火点等備品更新 295万円 ・空気ふるさと推進事業 338万円 ・高齢者等免許返納事業 80万円
<b>5. つながりを大切にしたい地域づくり 320万円</b> ・NEW アクション事業補助金 120万円 ・自治公民館整備事業補助 200万円	<b>6. 町長にお任せ事業 7,645万円</b> ・りんご温泉土地・建物取得 3,000万円 ・インバウンド推進事業 1,000万円

## 令和2年度 当初予算額 (会計別総括表)

(単位：円、%)

区分 会計の別	当初予算額		比較増減	
	令和2年度	令和元年度	予算額	率
一 一般会計	54億1,000万	56億700万	△1億9,700万	△3.5
うち他会計からの繰入	0万	0万	0万	0.0
うち他会計への繰出	6億2,378万	6億6,320万	△3,942万	△5.9
特別会計				
集落排水事業特別会計	1,840万	7,330万	△5,490万	△74.9
うち一般会計からの繰入	152万	1,555万	△1,403万	△90.2
国民健康保険特別会計	8億4,080万	8億3,650万	430万	0.5
うち一般会計からの繰入	8,376万	8,073万	303万	3.8
介護保険特別会計	10億8,060万	10億4,350万	3,710万	3.6
うち一般会計からの繰入	2億76万	1億9,343万	733万	3.8
うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
後期高齢者医療特別会計	9,520万	8,860万	660万	7.4
うち一般会計からの繰入	3,043万	3,006万	37万	1.2
うち一般会計への繰出	0万	0万	0万	0.0
企業会計				
病院事業会計				
収益的収支	8億2,828万	8億186万	2,642万	3.3
資本的支出	1億722万	2億5,774万	△1億5,052万	△58.4
うち一般会計からの繰入	3億515万	3億4,110万	△3,595万	△10.5
水道事業会計				
収益的収支	1億5,560万	1億5,840万	△280万	△1.8
資本的支出	1億2,000万	7,580万	4,420万	58.3
うち一般会計からの繰入	216万	232万	△16万	△6.9
<b>総 額</b>	<b>86億5,610万</b>	<b>89億4,270万</b>	<b>△2億8,660万</b>	<b>△3.2</b>
会計間のお金の出し入れを除いた 正味の総額	80億3,232万	82億7,950万	△2億4,718万	△3.0

## 予算・決算等資料



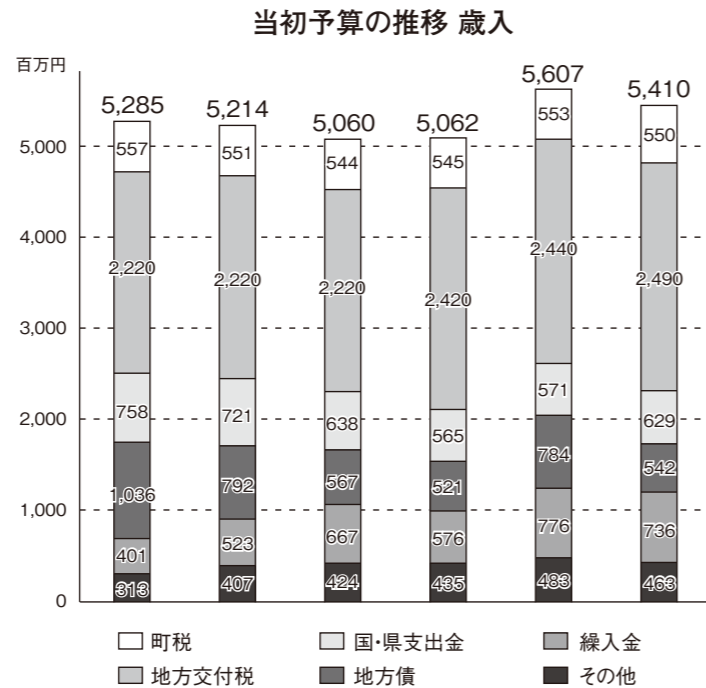
# 一般会計予算額（決算額）の推移

## 1. 一般会計当初予算の推移・概要

○令和2年度予算規模 **54億 1,000万円**  
 (前年度比較1億 9,700万円、3.5%の減)

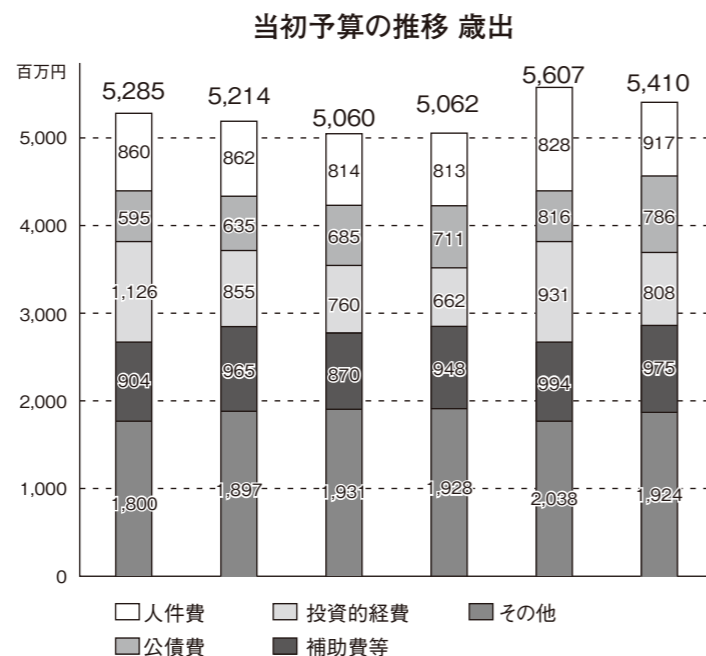
### (1) 歳入の特徴

- ・地方交付税：社会再生事業費の新設および公債費算入分の増
- ・国県支出金：空き家対策総合支援事業の増
- ・地方債：小中学校エアコン整備事業、町立病院大規模改修の終了等による減
- ・繰入金：日本一りんごのふるさとづくり基金、町有施設整備・管理基金繰入等の増

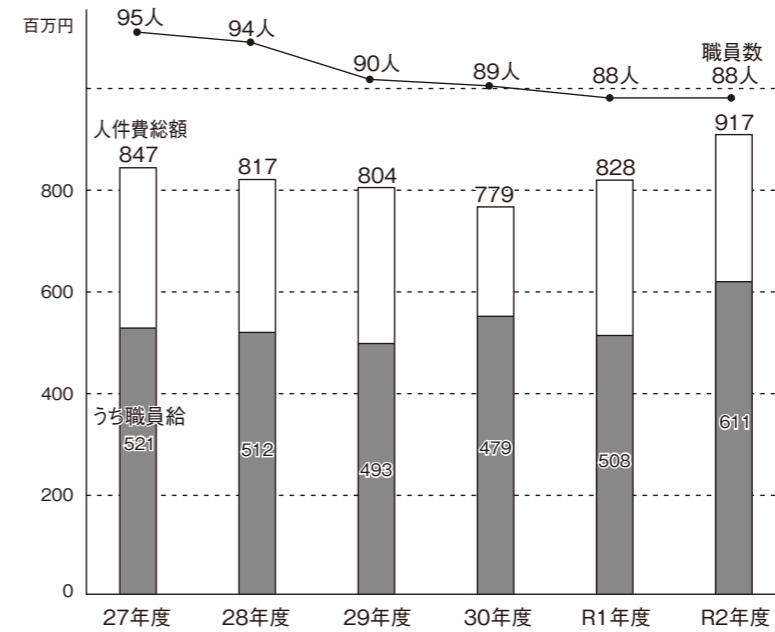


### (2) 歳出の特徴

- ・人件費：会計年度任用職員制度による増（臨時職員給与：物件費→人件費）
- ・公債費：前年度に繰上償還を実施したことによる減（57百万円）
- ・投資的経費：小中学校エアコン整備事業、町立病院大規模改修等終了による減
- ・補助費等：町立病院大規模改修にかかる病院事業会計への繰出し補助分の減
- ・その他：会計年度任用職員制度による物件費の減（臨時職員給与：物件費→人件費）



## 2. 人件費、職員給、職員数の状況



人件費、職員給、職員数ともに、平成11年度をピークに減少が続いています。

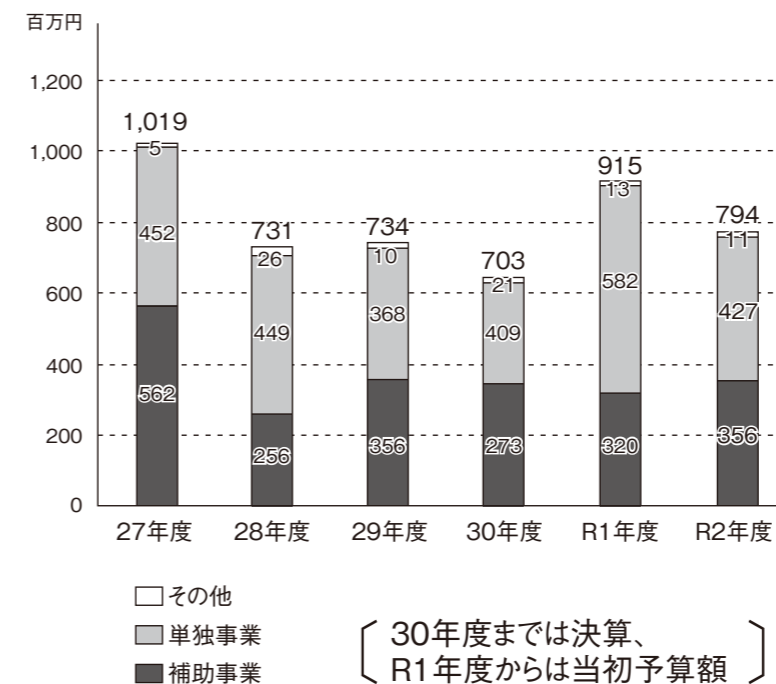
平成27年度から30年度までの4年間については、職員の世代交代が進み、平均年齢が低くなったことから、人件費、職員給が大きく減少しています。

令和2年度については大幅増となっていますが、これは国の制度改革で会計年度任用職員制度が始まり、これまで物件費に計上していた臨時職員給与を人件費に計上替えしたことが要因です。

〔30年度までは決算、R1年度からは当初予算額 職員数は定員管理調査より〕

## 3. 普通建設事業（公共事業）の状況

### 普通建設事業の推移



町は平成20年度以降、あさひ保育園整備（20～21）、小学校体育館改築（22～24）、庁舎耐震化（23～24）、総合交流拠点（道の駅）整備（24～27）、防災行政無線整備（27）、和合地区都市再生整備事業（24～28）等の大型事業を断続的に実施してきました。

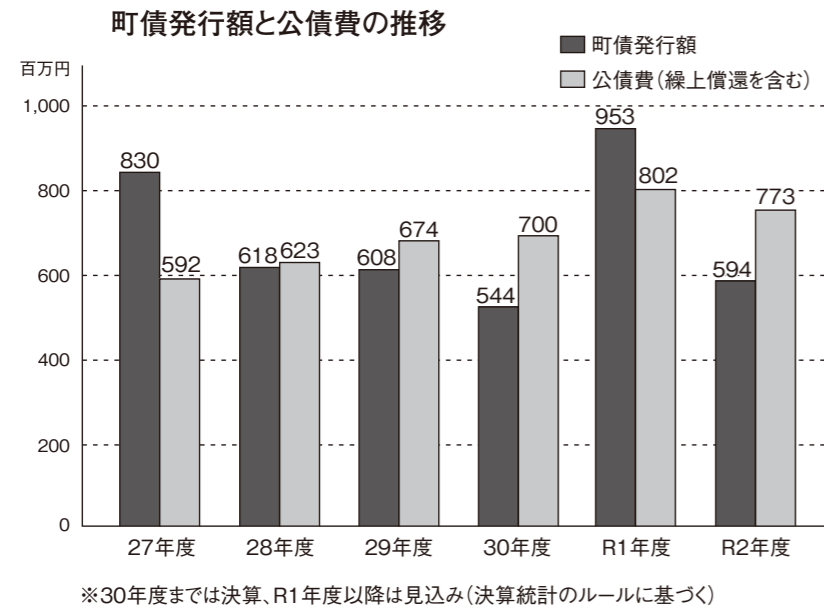
28年度以降、一時的に落ち着いたものの、令和元年度は小中学校エアコン整備事業や創遊館の大規模改修（空調設備）を実施したため事業費が膨らんでいます。

#### 〔令和2年度の主な事業〕

- ・創遊館大規模改修（電気、機械設備）1億 758万円
- ・町道一本松線新設 8,600万円
- ・りんご温泉存続対策（土地・建物取得）3,000万円

〔30年度までは決算、R1年度からは当初予算額〕

## 4. 町債発行額と公債費の推移



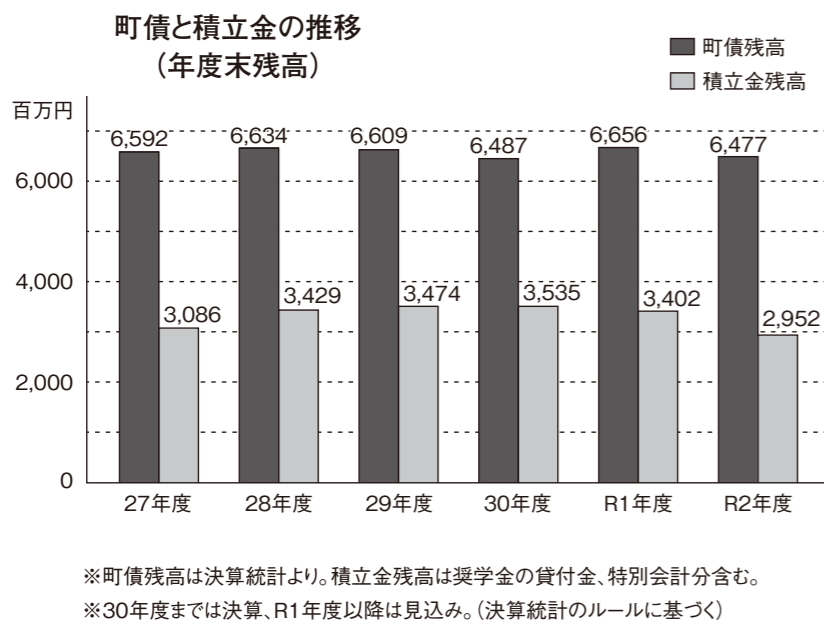
### ■町債発行額

町債については、過去5年程度では、和合都市再生整備事業、道の駅、ロッジしらくら整備等大型建設事業が相次いだ平成27年の発行額が多くなっています。28年度から一時的に落ち着いたものの、令和元年度は、小中学校エアコン整備事業や創遊館大規模改修等の実施により、再び増加しています。今後も自然観の大規模改修等大型事業が予定されていますが、積立金を活用しながら町債発行額の抑制に努めます。

### ■公債費

公債費については、平成15年度の12億4,900万円をピークに減少してきましたが、平成25年度の5億4,400万円を底打ちし、再び増加に転じています。この要因はあさひ保育園や小学校体育館改築で借り入れた町債の償還開始によるものです。その後も道の駅整備等大型事業の償還が順次始まり、増加が続いています。直近のピークは令和4年度、8億3,000万円程度を見込んでおり、以後も当面の間、7億円台が続く見通しです。

## 5. 町債残高と積立金残高の状況



### ■町債(町の借金)

過去5年程度の推移をみると、65億円程度で高止まりしていることがわかります。近年の大型事業により多くのお金を借りたことが要因です。

### ■積立金(町の貯金)

将来的に見込まれる公共施設の大規模改修に備えて、町有施設整備・管理基金に、ふるさと納税を原資として日本一りんのふるさとづくり基金に、積極的に積立てを行っています。令和2年度については、水本小の解体やりんご温泉の土地・建物取得等、大型事業の財源として取崩額が多くなるため、大きく減少する見込みです。

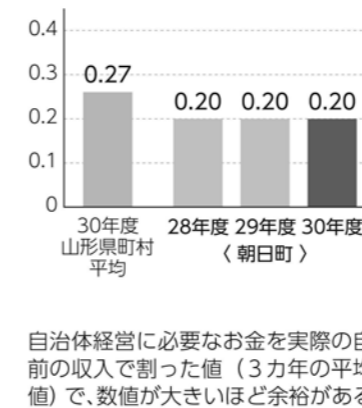
## 6. 財政指標で見る町の財政状況(平成30年度決算より)

町の財政状況は健全化判断比率\*をはじめとした様々な指標により客観的に分析することができます。こうした指標を過去3年間の推移や県内町村との比較で分析します。



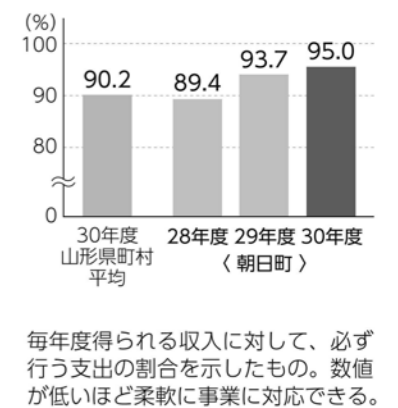
### ■財政力指数(自前の収入でやりくりできるか)

他自治体と比較して、当町は必要な経費を自主財源で賄える割合が低いことがわかります。町民税や固定資産税等の町税収入が少ないことが主な要因です。



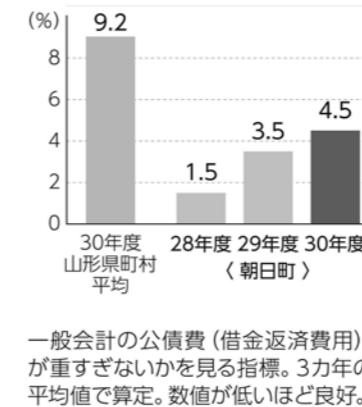
### ■経常収支比率(自由に使えるお金があるか)

3年連続で大幅上昇となりました。近年相次いだ大型事業で借りたお金の返済費用(公債費)や、病院経営を支える補助金の増額(H29~)が主な要因です。



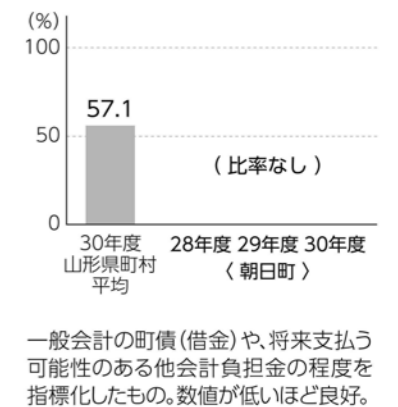
### ■実質公債費比率(借金返済に窮していないか)

3年連続の上昇となったものの、良好な水準を維持しています。借金は増えているものの、返済費用の一部が地方交付税に算入される制度を有効活用しているためです。



### ■将来負担比率(将来世代にツケを先延ばししていないか)

前年度に続き、比率はありません。借金(町債)等の将来負担額よりも、貯金(積立金)や将来地方交付税として収入が見込まれる金額の方が多いためです。



\*健全化判断比率…実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4指標の総称。公営企業の経営健全度を表す資金不足比率とともに、毎年議会への報告と公表が義務付けられています。実質公債費比率、将来負担比率以外の3指標については、県内すべての市町村で比率がありません。

## まとめと今後の取り組み

実質公債費比率、将来負担比率は健全段階を維持しているものの、近年の大型事業により町債(借金)残高が増えています。それに伴って公債費(借金返済費用)が増え、経常収支比率の著しい上昇につながっています。

町は今後も、創遊館や自然観等、公共施設の大規模改修を予定しています。実施に当たっては、各種基金の有効活用で町債発行を抑制しながら町債残高を減らし、健全財政の維持に努めていきます。



令和2年度 朝日町予算説明書

山形県朝日町